



## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニチリン

コード番号 5184 URL <http://www.nichirin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水良雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 森本幾雄

TEL 079-252-4151

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	32,452	14.4	2,364	98.2	2,646	121.9	1,315	95.1
24年12月期第3四半期	28,379	18.3	1,192	347.0	1,192	291.3	674	866.2

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 3,050百万円 (241.7%) 24年12月期第3四半期 892百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	146.33	—
24年12月期第3四半期	75.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	36,267	16,157	36.9	1,488.61
24年12月期	31,026	12,085	35.1	1,211.65

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 13,379百万円 24年12月期 10,890百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年12月期	—	8.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	14.2	3,000	155.8	3,200	108.3	1,500	105.6	163.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

※詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	9,000,000 株	24年12月期	9,000,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	12,014 株	24年12月期	12,014 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	8,987,986 株	24年12月期3Q	8,988,054 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年9月30日）における世界経済は、米国においては、個人消費や住宅・雇用等の経済指標が底堅く推移し、景気は全般的に穏やかなペースで拡大しましたが、量的金融緩和政策は継続されることとなりました。中国においては、輸出の鈍化やシャドーバンキング等の金融問題により、改善は見られるものの景気減速懸念は払拭されておりません。アセアン地域においては、順調な国内消費に支えられ経済は概ね堅調に推移してきましたが、米国の量的金融緩和政策の縮小観測に伴う資金流失もあり、経済成長率の鈍化が鮮明となりつつあります。なお、欧州においては、南欧諸国を中心とした債務問題の再燃不安が払拭されず、景気低迷は長期化しておりますが、徐々に下げ止まり感も出てきております。

一方、国内経済は、アベノミクスによる経済成長戦略への期待感から、円高是正・株高の進行や米国を中心とした外需の回復などにより、輸出企業を中心とした企業業績が改善し、個人消費も継続的な回復が見られ、緩やかに回復しています。

当社グループの主要事業分野である日本自動車業界に関する状況は次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年9月30日）における国内自動車各社は、昨年のエコカー補助金終了の影響により、国内生産・販売は低迷が続いておりましたが、7月以降、ようやく明るさが見え始め、7月～9月の国内四輪車生産台数は246万台（前年同期 243万台）に回復しました。ただし、生産・販売車種は燃費の良い軽自動車・小型車が中心であり、円高が大きく修正されたにもかかわらず、海外への生産シフト傾向が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における国内四輪車販売台数は、前年同四半期比4.8%減の407万台、四輪車輸出台数は前年同四半期比4.5%減の347万台、国内四輪車生産台数は、前年同四半期比7.2%減の712万台となりました。一方、国内乗用車メーカー8社の海外生産台数は、中国市場において減少しましたが、北米市場の回復やアセアン市場において概ね堅調に推移したため、前年同四半期比3.1%増の1,198万台となりました。なお、国内二輪車メーカーの国内生産台数は前年同四半期比12.2%減の39万台となりました。

このような環境のなか、為替の円安基調やニチリン（タイランド）の子会社化により、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,452百万円（前年同四半期 28,379百万円）、営業利益は2,364百万円（前年同四半期 1,192百万円）、経常利益は2,646百万円（前年同四半期 1,192百万円）となりました。四半期純利益は、年金資産消失損453百万円（当社が加入している兵庫ゴム工業厚生年金基金によるAIJ投資顧問㈱の運用で生じた損失の当社負担額）の計上により1,315百万円（前年同四半期 674百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ① 日本

国内四輪車生産は昨年のエコカー補助金終了の影響により大幅減少しておりましたが、7月以降ようやく増加傾向にあります。ただし、生産は燃費の良い軽自動車、小型車中心となり、中型車以上の車種の海外への生産シフトにより、売上高は20,537百万円（前年同四半期 21,029百万円）となりました。利益面においては、為替の円安基調や固定費の削減効果により、営業利益は764百万円（前年同四半期 307百万円）となりました。

#### ② 北米

自動車市場の回復により、売上高は8,639百万円（前年同四半期 6,294百万円）となり、営業利益は450百万円（前年同四半期 57百万円）と好調に推移しました。

#### ③ 中国

日本車の不買運動や経済成長率の鈍化により、現地通貨での売上高は減少しましたが、円安による為替評価の影響により、売上高は6,038百万円（前年同四半期 4,897百万円）となりました。一方、営業利益は、売上高の減少により380百万円（前年同四半期 467百万円）となりました。

#### ④ アジア

二輪車・四輪車市場が概ね好調に推移したことや、ニチリン（タイランド）の子会社化により、売上高は5,793百万円（前年同四半期 3,143百万円）、営業利益は1,046百万円（前年同四半期 391百万円）と好調に推移しました。

#### ⑤ 欧州

新規受注効果もあり、売上高は1,082百万円（前年同四半期 742百万円）となりましたが、営業損失21百万円（前年同四半期は営業損失 45百万円）にとどまりました。

（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

日本の自動車業界は、国内では好調な軽自動車や新型車販売とともに、来年4月の消費増税を控えた駆け込み需要も見込まれることから、生産は持ち直しつつあります。海外においても、引き続き堅調な北米市場およびアセアン市場に加え、中国での日本車販売も回復の兆しが見え始めました。

このような環境下、当社グループの業績は、概ね計画通りの推移が見込まれ、平成25年8月9日に公表いたしました平成25年通期業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

（退職給付引当金に係る会計上の見積りの変更）

当社が加入する複数事業主制度の「兵庫ゴム工業厚生年金基金」は、年金資産の一部について、投資一任契約のもとAIJ投資顧問㈱での運用を実施しており、これまで、同基金よりその大半が毀損しているとの報告はありましたが、同基金から当該投資損失額の正式報告はなく、また加入企業の負担割合も決まっておりました。

第2四半期連結会計期間において、平成25年6月26日に、同基金から当該投資損失額および当社の負担割合の通知があり、当該年金資産の消失に係る当社負担額が確定しました。

これにより、当第3四半期連結累計期間において、当該年金資産の消失に係る損失額 453,684千円（特別損失）を退職給付引当金として一括計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,683,909	6,149,623
受取手形及び売掛金	6,344,780	7,987,297
電子記録債権	165,071	142,911
商品及び製品	1,695,221	1,616,906
仕掛品	2,231,790	2,081,552
原材料及び貯蔵品	1,133,040	1,380,650
繰延税金資産	180,372	391,580
デリバティブ債権	—	12,603
その他	1,237,631	1,022,789
貸倒引当金	△51,084	△62,641
流動資産合計	16,620,733	20,723,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,819,322	7,248,729
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,418,551	△4,619,495
建物及び構築物（純額）	2,400,770	2,629,233
機械装置及び運搬具	13,855,262	15,055,906
減価償却累計額	△10,586,375	△11,386,197
機械装置及び運搬具（純額）	3,268,886	3,669,708
土地	3,633,920	3,639,272
建設仮勘定	308,412	564,295
その他	2,466,066	2,793,819
減価償却累計額	△2,281,570	△2,429,929
その他（純額）	184,495	363,889
有形固定資産合計	9,796,485	10,866,400
無形固定資産		
のれん	1,962	1,207
その他	173,824	183,713
無形固定資産合計	175,787	184,921
投資その他の資産		
投資有価証券	3,379,588	3,796,162
繰延税金資産	419,896	71,553
その他	645,985	637,286
貸倒引当金	△11,740	△11,740
投資その他の資産合計	4,433,730	4,493,262
固定資産合計	14,406,003	15,544,584
資産合計	31,026,736	36,267,859

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,375,449	4,477,730
電子記録債務	965,216	3,207,154
短期借入金	466,514	266,976
1年内返済予定の長期借入金	1,684,063	1,649,543
未払法人税等	72,432	277,195
賞与引当金	74,321	393,919
デリバティブ債務	41,980	472
その他	1,471,152	1,499,711
流動負債合計	11,151,130	11,772,703
固定負債		
長期借入金	3,008,767	3,213,135
再評価に係る繰延税金負債	959,448	959,448
繰延税金負債	53,272	77,954
退職給付引当金	3,233,002	3,639,876
役員退職慰労引当金	178,840	167,755
負ののれん	866	—
その他	356,057	279,724
固定負債合計	7,790,256	8,337,895
負債合計	18,941,387	20,110,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,729,000	1,729,000
資本剰余金	1,655,608	1,655,608
利益剰余金	6,311,892	7,501,330
自己株式	△6,536	△6,536
株主資本合計	9,689,963	10,879,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	831,800	1,187,412
土地再評価差額金	1,735,632	1,735,632
為替換算調整勘定	△1,367,091	△422,768
その他の包括利益累計額合計	1,200,341	2,500,275
少数株主持分	1,195,044	2,777,583
純資産合計	12,085,349	16,157,261
負債純資産合計	31,026,736	36,267,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	28,379,236	32,452,928
売上原価	23,934,045	26,493,775
売上総利益	4,445,190	5,959,152
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	957,272	971,999
貸倒引当金繰入額	4,569	10,610
役員報酬	170,913	176,741
役員退職慰労引当金繰入額	11,935	18,401
給料及び手当	871,215	966,580
賞与引当金繰入額	76,278	155,964
退職給付費用	48,196	54,496
法定福利費	139,042	159,956
旅費及び交通費	109,271	135,521
租税公課	65,025	63,329
賃借料	91,771	99,417
減価償却費	57,373	72,832
のれん償却額	903	783
その他	648,568	708,474
販売費及び一般管理費合計	3,252,335	3,595,109
営業利益	1,192,855	2,364,043
営業外収益		
受取利息	6,138	11,211
受取配当金	27,290	34,550
為替差益	—	163,481
負ののれん償却額	2,313	866
持分法による投資利益	11,468	107,890
助成金収入	5,189	5,897
その他	61,778	63,019
営業外収益合計	114,178	386,917
営業外費用		
支払利息	75,513	63,738
為替差損	15,756	—
貸倒引当金繰入額	5,500	—
その他	17,504	41,028
営業外費用合計	114,273	104,766
経常利益	1,192,759	2,646,193



(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	1,872	43,404
投資有価証券売却益	—	26,236
負ののれん発生益	—	160,595
特別利益合計	1,872	230,236
特別損失		
固定資産売却損	8	8,602
固定資産除却損	14,780	28,274
段階取得に係る差損	—	82,145
年金資産消失損	—	453,684
特別損失合計	14,789	572,705
税金等調整前四半期純利益	1,179,843	2,303,723
法人税、住民税及び事業税	276,787	621,215
法人税等調整額	40,433	△22,350
法人税等合計	317,221	598,864
少数株主損益調整前四半期純利益	862,621	1,704,858
少数株主利益	188,472	389,589
四半期純利益	674,149	1,315,269

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	862,621	1,704,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,575	355,611
為替換算調整勘定	△23,258	868,616
持分法適用会社に対する持分相当額	16,817	121,702
その他の包括利益合計	30,135	1,345,930
四半期包括利益	892,757	3,050,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	724,684	2,615,204
少数株主に係る四半期包括利益	168,073	435,585

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	15,338,554	6,290,358	3,306,689	2,701,575	742,058	28,379,236	—	28,379,236
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,691,271	4,398	1,591,249	441,954	—	7,728,874	△7,728,874	—
計	21,029,826	6,294,756	4,897,938	3,143,530	742,058	36,108,110	△7,728,874	28,379,236
セグメント利益又は 損失 (△)	307,022	57,779	467,649	391,799	△45,038	1,179,212	13,642	1,192,855

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額13,642千円には、セグメント間の未実現損益13,724千円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への 売上高	13,419,884	8,639,722	4,083,231	5,228,011	1,082,078	32,452,928	—	32,452,928
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	7,117,763	50	1,955,445	565,729	78	9,639,067	△9,639,067	—
計	20,537,647	8,639,773	6,038,677	5,793,741	1,082,156	42,091,995	△9,639,067	32,452,928
セグメント利益 又は損失 (△)	764,861	450,223	380,740	1,046,938	△21,766	2,620,998	△256,955	2,364,043

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△256,955千円には、セグメント間の未実現損益△256,835千円等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。